

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年2月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103276
法人名	株式会社 プロGRESS
事業所名	グループホーム 愛愛
所在地	鹿児島県鹿児島市吉野二丁目36番15号 (電話) 099-244-8876
自己評価作成日	令和5年12月16日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和6年1月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・理念に家庭的な雰囲気の中でゆったり楽しくを掲げ、本人の気持ちや状況を常に考えながら日々の生活支援に取り組んでいる。
 ・行事やレクリエーションを多く行い、日々の生活を充実できるよう取り組んでいる。
 ・24時間体制の医療連携体制を整え、医療機関との連携を図り、情報共有することによって毎日の健康管理から急変時の対応まで充実でき、御入居者や御家族に安心して生活できるように努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・事業所の理念のごとく、職員は利用者と個々にゆっくりコミュニケーションを図り、利用者の情報を把握し、日々の生活支援に取り入れている。
 ・食事は週2～3回調理師が勤務し専従で調理し、季節の食材を取り入れ、家庭料理や鍋料理も楽しみながら、ゆっくり食べている。プリンやどら焼など手作りデザートなどで楽しんでいる。
 ・24時間医療連携体制で、相談や要望が伝えられる関係性を築き、適切な医療が受けられるように支援している。また、管理者、職員は病状に関する気をつけるべき点などを話し合い、ケアに活かしている。
 ・コロナ感染5類移行後もインフルエンザ等の感染症が流行しているが、感染対策し、人数制限と時間制限を設け居室での面会を可能とし、馴染みの人との関係が途切れないよう支援している。
 ・管理者や職員間は仲がよく、職員も利用者も笑顔が多い。また、管理者に意見が言いやすく、なんでも相談できる。働きやすい環境作りに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2号棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所理念は玄関や職員トイレに掲示し、いつでも確認できるようにしている。	理念をパンフレットや重要事項説明書に掲載している。玄関や職員トイレに掲示し、いつでも確認しながら支援している。毎月、ミーティングで理念の確認と振り返りを行い、支援に活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナウイルス感染防止の為、ここ数年できていない。周囲でインフルエンザが流行している為、交流は控えている。町内会長へ連絡し、感染症が落ち着いてきたら、地域行事などに参加していきたい旨を伝えている。	コロナ禍やインフルエンザ流行で感染防止の為に地域との交流は自粛していたが、地域の情報を提供してもらい、行事に参加予定である。散歩時に言葉を交わしたり、手作り菜園で収穫下サツマイモを焼きいもにして、近隣住民におすそ分けする等の親しく交流に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症により、地域との交流を自粛している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ以前までは定期的に集合開催していたが、感染症予防により書面にて開催し、施設の状況を報告、意見をもらっている。	会議は書面開催で実施していたが、今年度は、定期的に対面開催し、入居者状況や行事等の活動報告・事故報告等を行い、意見は支援に活かしている。職員にはラインで共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2号棟)		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>紙おむつ申請や介護保険更新、生活保護の書類提出などで直接窓口まで行ったり、わからないことは電話で相談したりしている。</p>	<p>支所の窓口に出向き、毎月の紙おむつの申請や更新、書類提出等を行い、相談等は電話でアドバイスをもらっている。生活保護担当者とは、電話で報告する等、情報を共有し、日頃から連携・協力関係にある。市主催の研修にはズームで参加している。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>定期的に身体拘束をしないケアについて施設内研修を行い、身体拘束を行わないケアについて理解を深めている。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を毎月ケアミーティングで開催し、年2回内部研修でマニュアルや資料を用いて身体拘束の3原則やスピーチロック・虐待について等を学んでいる。ベッド柵やセンサー使用時は家族の同意を得て経過は話し合い、記録している。玄関の施錠は暗証番号で開閉している。外出希望時は、まず外に出るの外気浴や散歩支援をしている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされないことがないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>定期的に虐待について施設内研修を行い、理解を深め、入居者様の心身状態を注意深く観察している。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2号棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	外部研修参加や施設内研修で制度の理解を深めている。成年後見制度申請についてわからない時には成年後見センターに電話し入居者様に合わせて活用できるように支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居契約時、運営規定、利用契約書、重要事項説明書などの内容説明を十分に行っている。不明点はないか確認し、納得できるようわかりやすく説明するように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族の面会時や不定期的な電話連絡でコミュニケーションを図り、良好な関係が構築できるように努め、意見をいただいている。また、意見箱の設置し月1回のお便りで様子を伝えることで意見や要望を表す機会を設けている。	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞いている。家族からは面会や電話で状況報告を行い、話を聞く機会を設けている。月1回の「グループホーム愛愛」を発行し利用者の状況や食事内容を写真で紹介し報告している。面会制限の見直しで対面面会となり喜ばれている	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員面談や月1回のケア会議などで各職員の意見や悩み、要望を聞き、運営に反映している。	管理者は毎月の合同ミーティングや各ユニットミーティング、日々の申し送りやケアの中でも意見や提案を聞いている。面談希望があれば対応し、元気で明るく声かけする等、働きやすい環境作りをしている。意見や提案から備品購入や支援に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2号棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員面談にて勤務形態や労働時間などの希望や条件を聴き取り、柔軟に対応している。資格取得しやすいように協力を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月の研修担当を決め、担当が研修資料を作成して内部研修で発表することでスキルアップに努めている。技術面は、介助方法に困ったケースなどシミュレーションを行い、経験者がアドバイスし職員間で共有できるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同系列グループの職員とは情報共有する機会があるが、コロナ禍によってそれ以外の施設との交流が減ってきている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2号棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前に見学や体験入居を通してご本人の要望や不安を聞き、入居後は関わる時間を多く作り、関係づくりに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人やご家族の抱える不安を時間を設けて話し合い、ご家族とホームとのかかわり方を考えている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>事前に職員が訪問したり、ご本人、ご家族がホームに来所していただく機会を設けている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご本人のこれまでの暮らし方やできる事を尊重している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2号棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>日々の暮らしの様子を面会時や電話にて報告し、気軽に話ができる関係を築くようにしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご家族だけでなく、これまで交流があった馴染みの人も面会ができ、関係が途切れないように努めている。</p>	<p>家族だけでなく友人や知人の面会も人数や時間の制限はあるが居室でゆっくり過ごせる支援をしている。電話や手紙・葉書の取次など関係が途切れない支援を心がけている。家族の協力外出やホームでも個別に買い物支援をしている。3ヶ月に1回、馴染みの訪問理美容で整髪支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>性格の合わない方もいらっしゃる為、入居者様同士の関係、特徴を把握して座席を考え、良い関係作りに努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>他の施設へ転居されても、必要に応じてその後の様子を電話で伺っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2号棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様の表情や状態を観察し会話やコミュニケーションの中で一人ひとりの思いや暮らし方などの意向を引き出せるように努めている。	日々の関わりの中で、特に入浴時や居室でゆっくり過ごしている時・夜勤時に思いや意向を聞いている。困難な場合は不安そうな表情や目を閉じたり・歯ぎしりの動作等から、職員間のミーティングを行行いや家族に状況を報告し意見を貰い、本人中心の支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴やご本人、ご家族から話を聞くことで把握し、その人らしい生活が送れるサービス提供に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者一人ひとりの状態観察や状態の把握を行い、穏やかに生活して頂けるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族の意見や意向を把握して、サービス担当者会議やミーティングにて情報交換を行い、日々のケアに反映している。	本人や家族の意見や意向、主治医の意見、職員の意見を参考に担当者会議で意見交換して趣味を反映し介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に実施し、6ヶ月毎に見直しをしている。状況変化時はその都度見直し現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2号棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活での様子を記録して職員で情報交換を行っている。月1回のミーティングなどでケアの見直しを行い、より良いケアが実践できるように努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の思いに寄り添い、必要に応じたサービスが行えるように柔軟な取り組みを行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ここ数年、地域との交流は自粛していたが、地域の方々との関わりを大切にし、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるように支援していきたい。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回、主治医による訪問診療があり、相談や要望が伝えられる関係性を築き、必要に応じて受診ができるように支援している。	入居契約時、希望のかかりつけ医を確認し、入居前からの継続で半年毎の定期検診支援と協力医療機関の月2回の訪問診療や希望時は歯科医の毎週訪問診療がある。必要時は往診もあり、24時間医療連携体制で適切な医療を受けられるよう支援している。他科受診時は家族又は職員同伴で受診支援している。結果は電話で報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2号棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>職員同士情報共有を密に行い、早期発見、対応できている。定期的に在宅看護師、医療ソーシャルワーカーと施設職員で訪問診療間ミーティングを行い、入居者様の状態報告や相談ができ、適切な受診や支援ができている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時は医療機関との情報交換、連携を図り、入居者様の状態把握を行っている。職員間で情報共有し、医療機関との良好な関係づくりにも努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ご家族、関係職員を含め、主治医による病状説明と今後の方針を共有し十分な支援ができるようチームで取り組んでいる。</p>	<p>重度化した場合や看取り対応の方針のマニュアルが有り、入居時に説明し同意書を貰っている。早い段階から主治医から家族に病状説明があり、家族の意思を確認し、方針を共有しながら主治医・訪問看護師・家族・職員でチームを組み、看取り支援をしている。エンゼルケアやグリーフケアにも取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2号棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時、事故発生時のマニュアルを作成している。急変時に冷静に対応ができるように連絡先なども掲示している。実際にあった急変時や事故発生時の対応を再確認しより良い対応ができるように取り組んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の協力を頂き、年2回、昼夜想定した避難訓練を行い、災害時、迅速で安全にご入居者を誘導できるよう全職員で情報共有し取り組んでいる。</p>	<p>年2回防災訓練を昼夜想定で実施している。消防署立会では火災想定で通報、初期消火、玄関前に避難誘導訓練を実施し避難経路も確認している。自主訓練も防災設備点検業者の参加で火災想定で実施している。備蓄は水・缶詰・レトルトカレー・ラーメン・ご飯や味噌汁等の食品を3日分とカセットコンロ・土鍋・懐中電灯を準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2号棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>安心・安全なプライベート空間の整備、共有する空間は常に尊厳が保たれるよう配慮している。ミーティングなどで言葉かけや対応時の確認、検討を行っている。</p>	<p>年1回法人の職員全体で外部講師を招き接遇研修を行っている。ホームでもミーティングで支援の仕方の確認や勉強会を実施している。排泄時の声かけや立ち位置・ドアの開閉を考慮し、見守り支援をしている。入浴時はタオルを掛けたり同性介助で対応している。衣類等も自己決定できるような声かけをしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>個々の体調に気を配りながら小さな変化を見落とさないようにその人に合った話しやすい言葉かけを常に意識している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>毎日の日課はあるが、入居者のペースに合わせた支援を心掛けている。声かけし、その方の希望にそって過ごせるように支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>衣替えは一緒に行い、個人の好みを尊重している。身だしなみを整え、希望があれば、髪染めや化粧などを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2号棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材を取り入れたり、いろどりや盛り付けを工夫したりし、個々の好みも重視している。	担当の職員が献立作成をしている。季節の食材は週単位の購入し、ネットスーパーで魚肉類は2週に1度届き、個々の食形態で提供し代替食も対応している。お節や行事食・誕生日はケーキでお祝いし、そ〜めん流し等も楽しんでいる。下準備や玉ねぎの皮むき・お盆や台拭きを一緒にしている。献立や食材は記録し、管理栄養士に意見をもらっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日、食事や水分摂取量の確認を行い、個々に合わせた食事量、食事形態を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	週1回、訪問歯科による口腔ケアを行い、指導を受けている。毎食後、口腔ケアへの声かけを行い、見守り、援助している。毎日、義歯洗浄剤を使用し清潔が保てるよう努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄間隔を把握し、定時での声かけ、トイレ誘導を行っている。日中は、できるだけトイレで排泄できるよう、立位が困難な方は職員2名で援助している。	排泄パターンを把握し個々の時間帯での声かけやそわそわ・立ち上がる等の行動からトイレ誘導している。排泄用品は布パンツや紙おむつ・リハビリパンツにパット等、夜のみポータブルトイレの場合もある。紙おむつからリハビリパンツとなりトイレでの排泄となった事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2号棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事、水分、排泄チェック表を活用し、なるべく自然排便できるようにヨーグルトや牛乳などを毎日提供している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入居者の体調に合わせて、週2回入浴している。できるだけ湯船に浸かってゆっくりと入浴ができるように支援している。	週2回、午前と午後に分けて浴槽やシャワーと足浴をセットで支援している。湯温の調整や長湯が好きな利用者にも配慮している。菖蒲湯やゆず湯を楽しんでいる。拒否がある場合は声かけの工夫や時間をずらす・職員交代等で対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体調に合わせて、ベッド臥床時間を設けている。日中、居室で休息する時間を作り、休まれない方は、温かい飲み物を提供しゆっくりといただけるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりが服用する薬の目的や副作用、用法や用量について内服薬一覧やケア記録で理解し、内服薬チェック表を使用し、服用前に職員、入居者と二重確認し誤薬のないように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりのできる事を見極め、洗濯物たたみやお盆拭きなどのお手伝いをお願いしている。また、食事前のあいさつなど一人ひとりに合った役割をもつことで達成感を味わうことができている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2号棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	新型コロナウイルス感染予防により外出の機会は少なかったが、状況を見て、施設周辺を散歩したり、買い物支援をしたりしている。	年間計画表を作成し、天気の良い日は施設周辺の散歩や買物支援をしている。数回に分けてドライブで花見にでかけたり、ホームの夏祭りではスイカ割りや輪投げ・ヨーヨーやお宝釣りをしている。家族の協力で外出支援もしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在、金銭管理できる入居者がいない為、ご家族に金銭管理していただき、施設で立替して購入している。希望があれば、1万円程度のお金を施設で預かり、買い物支援をしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話をかけてほしいとの要望があれば、援助しています。月1回は面会に来て直接顔を見てお話していただきたいとお願いしている。また、年賀状を職員と一緒に作り、できるだけ直筆で書いていただくよう支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の関係性を理解し、ホール内での座席に配慮している。季節に合わせた壁面制作や花を飾っています。食事の際は、落ち着いたBGMでゆっくりと食事ができるようにしている。	ホールは定期的に換気を行い、採光や温度・湿度に配慮し過ごしやすい環境を心がけている。毎月壁面制作や利用者作品の塗り絵・書初め・絵馬等も飾っている。テレビ・CDカセット・テーブル・椅子があり、関係性に配慮した座席となっていて、ゆっくり過ごせるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2号棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>入居者同士の関係性を理解し、共有スペースでの席の配置や過ごし方に配慮している。ソファを設けたり、ご本人持ちのリクライニングチェアを共用のテレビ前に設置しゆっくりと過ごせるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた物や仏壇などの持ち込みが可能であり、自宅に近い環境整備ができるように心掛けています。</p>	<p>居室は電動ベッド・タンス・エアコンを設置し、寝具類は持ち込みである。その他、収納ケース・ハンガーラック・仏壇・位牌・遺影・時計・家族写真・孫の作品等を飾り、居心地よく過ごせる環境を整えている。身体状況に応じてポータブルトイレや歩行器の持ち込みもある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>施設内は段差はなくバリアフリーである。できるだけ自立に向けた生活ができるよう、必要な箇所に手すりを設置し、トイレなどの場所もわかりやすく掲示している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない